



さいじょう

文芸広場

俳句

尾形千寿 選

噴き上がる若水溢る駅に立つ
鮮やかに朱をもたげたる実南天
電話口咳する我を氣遣ふ娘
早春や二枚つづきの指定席
片時雨偉容に映ゆる天守閣
注連飾外して常の日となりぬ
年新た抱負貫く決意かな
齒朶刈女つと飛び出しぬ山の径

伊藤律子
伊藤芳栄
国田ヤエ子
為頼小夜子
松本 愛
萬條ハマヨ
三浦シズ子
村松笑美子

川柳

平尾忠文 選

相槌をほどほどに打つ聞き上手
精いっぱい生きて蟻には蟻の夢
雨上り竿の真珠と日の光
アメリカの不況で日本中が揺れ
お雑煮の箸がころげて初笑い
老いて猶青春求め趣味の会
娘に任せ欲を離れて丸く生き
秋の道銀杏あわれ靴の底

弓山鶴子
飯尾時子
今井マサコ
藤田ウメノ
木原恵美子
日和佐マサ子
大谷道子
大橋桃代

短歌

田坂幸 選

初漁に出でゆく人ら釣船に神酒ふりかけて海に祈れり
吾が留守の家にも新春の陽光は差すらむと遠く偲びつつをり
新春に幸せとどけ産まれ来るまだ見ぬ汝に会えるよろこび
次々と来る人ごとに白菜を土産に持たせ年の暮れすぐ
苺の花今を盛りと咲き誇るハウスの中を蜂の飛び交ふ
紅葉の木にからまりて朝顔の紫紺の花の長く咲きつぐ
くつたくなき東北訛りの話し声大浴場に聞きつつ楽し
ひそやかに暖房入れ来る足音してももの思う夜の心ぬくもる

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
市庁舎本館 総務課 広報情報係
TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.46

スコットランドのお正月 "Hogmanay (ホグマニー)"

スコットランドでは、お正月のお祝いを“ホグマニー”と言います。この言葉はバイキングやスカンジナビアの昔の祭りに由来しています。1月3日までお正月祝いが続きますが、ホグマニーで行われる伝統的な習慣といえば、日本と同じように大掃除をすること、借金は12月31日の24時までにすべて返すということです。年が明ける直前に“蛍の光”を歌いますが、この

曲は1788年から受け継がれており、日本では卒業式などでも使われています。

ホグマニーのお祝いで欠かせないのが、親友であれ他人であれ、お互いが思いやりの気持ちを持ってキスをし、「Guid (=Good) New Year」と言い合うことです。昨年のことを忘れて、新たな気持ちで新年を迎えるという意味があります。“ファースト・フッティング(最初の一歩)”も昔からの習慣で、1日の0時を過ぎてから黒い髪と目の男性が先に玄関に入ると、1年間幸福になるというものです。なぜ黒が良いかというと、昔スコットランドを襲っていたバイキングの人がほとんど金髪だったので、そう見えない人がスコットランドの家にとって幸運だからです。しかし現在は、金髪の人に対する偏見は特にありません。

ホグマニーで最も素晴らしいのは、“ファイアー・セレモニー”という行事です。スコットランド北東のストーンヘブンという所で、10*もある大きなファイアーボール(火の球)を1.5メートルの棒の両端に吊るし、60人の男が担いだり回したりしながら街を一周します。太陽の光に見立てたファイアーボールに悪霊を払う力があると信じられ、キリスト教以前から続いています。私は西条祭りを見るたびに、このお祝いを思い出します。皆さん、Happy New Year! <訳:国際交流員ケイレブ>



▲外国語指導助手

- クリストファー・サマーフィールドさん

特集記事 支所便り SICS 情報最前線 お知らせ 催し 講座・教室 募集 施設ガイド 人権・同和教育 他 ふるさと産品 カメラスポット Happy Birthday 文芸広場 他 各種相談 保健センター 当番病院 他